

これからも元気で楽しい人生を

平成21年度 前美里町教育老式

式典では、米寿代表市川謙之助さん（院内岱）、傘寿代表加藤壽子さん（熊の岱）、初敬老代表田口文子さん（鳥谷場）へ、石岡町長より記念品が手渡されました。今年度は、事前に行つたアンケートの結果を参考に、米寿の方々には敬老祝商品券（4,000円）、傘寿の方々にはステッキ、初敬老の方々には



おれのことば

5月8日、広域藤里体育館において、平成21年度藤里町敬老式が挙行され、各地区から500名余が式典に出席しました。今年めでたく敬老式を迎えた方々は1,210名で、今年度初めて敬老を迎えた方々（昭和13年4月2日から昭和14年4月1日までに生まれた方）が68名、数えて80歳の「傘寿」（昭和5年生まれ）が78名、88歳の「米寿」（大正11年生まれ）が34名となっています。

敬老祝商品券（2,000円）がそれぞれ贈られました。

その後、石岡町長から「敬老者の方々には健康の維持増進に心がけ、各種活動にも積極的に参加を頑張っておりますが、現在、当町の平均寿命は日本人の平均寿命を下回っており、日頃から取り組まれている生きがい活動と相まって、まだまだ長寿のための努力が必要と再認識しているところです。厚生労働省の健康維持キャッチフレーズに、『一に運動』『一に食事』『しっかり禁煙、最後にクスリ』とありますが、常にこのことを心掛け日本の中の平均寿命の仲間入りをし、楽しい人生を送られるよう切望します。今年度は、町の活性化を図るため、農業や林業も含めた体験型観光を進めることにしておりますが、長い人生で培われた経験や知識を有する皆さんのお力をお借りしたいと思いますので、「ご協力を願っています」と式辞が述べられ、続いて中嶋正志山本福祉事務所長、藤原幸美町議会議長両来賓からそれぞれ祝辞が送られると、敬老者を代表して淡路勝廣さん（中町）からは「私たちはこれからも、先人たちが築きあげてきたこの郷土がますます発展ある事を信じて、長年培ってきた豊かな経験と知恵を出し合い、

健康に留意し、精一杯努力し頑張つて参りたい」とお礼の言葉が述べられました。

引き続き催された祝宴には各地区の婦人会や園児らが、この日に向け練習した踊りや演奏曲を披露。会場からは大きな拍手が送られていました。

米寿該當者



飛び入りゲストにつっこり



記念品の贈呈